

親善試合後の記念撮影(21日)



はばだけ  
JTサンダーズ広島

久原 大輝



## 国境を越えた親善試合

21日にインドネシアの「Bhayangkara Pressisi」というクラブチームと親善試合を実施した。昨年は国内リーグ2位で、アジア・クラブ選手権に出場実績もあり、現在は日本人の加藤アンドレ敦志さんが、監督を務めている。平馬慶太コーチの知人から、親善試合の依頼を受けて実現。体格を見ると日本人選手より平均身長が高く、底知れない潜在能力を感じた。

サンダーズも全選手が出場し、これまでのリーグ戦で出場機会があまりなかった選手も、実戦感覚を養うことができた。2コート同時進行ということもあり、相手チームの選手数が足りず、われわれのリベロがセットごとに助っ人として出場。試合形式ではめつたに見ることができない、井上航選手のコースを付くサーブもあった。

6セット行い全勝することができたが、普段対戦することのないチームとの戦いで多くのことを得ることができた。1点をがむしゃらに取る姿勢は、特にわれわれも見習わなければならない。

このご縁に感謝し、またどこかでのこのチームと対戦できることを切に願っている。

(JT広島マネジャー)